PLC-Remote 取扱説明書

シリコンリナックス株式会社 |[会社の住所]

2018

目次

PLC-Remote について	2
ローカル LAN に Box がある場合の構成	2
遠隔地に Box がある場合の構成	2
使用開始までの流れ	3
BBB Box について	4
Box の各部名称	4
Box のネットワーク接続設定	5
BOX を無線 LAN 子機として使用する	5
BOX を有線 LAN(DHCP)に接続し使用する	7
BOX を有線 LAN(静的)に接続し使用する	8
BOX を携帯回線に接続し使用する	9
Box の機器接続設定	11
USB ケーブルによる機器との接続	11
LAN ケーブルによる機器との接続	11
Windows アプリケーションについて	12
インストール手順	12
インストーラの取得	12
インストールの実行	13
使用方法	21
起動	21
Box との接続	22
カメラ・マイク・スピーカ、USB デバイスの操作方法	25
遠隔地(リモート)LAN への接続	27
アンインストール方法	32

PLC-Remote について

遠隔地にある PLC を手元の Windows PC から 動画と音声をライブで確認しながらプログラム書換えやモニタリングができる装置です。

ご使用いただく環境の構成には大きく2つのパターンがあります。いずれの場合も、 お手元の PC から離れた場所にあるカメラ・マイク・スピーカ、USB メモリ、PLC を操作 することができます。

ローカル LAN に Box がある場合の構成



遠隔地に Box がある場合の構成



使用開始までの流れ

使用開始までの概要を説明します。詳細は別途章が有りますのでそちらを参照願います。

- BOX にご利用いただく環境に応じた設定を行います。
 「BBB Box について」へ
- PC に PLC-REMOTE アプリケーションソフトをインストールし使用を開始します。 「Windows アプリケーションについて」へ

BBB Box について

Box の各部名称

●各部の名称



ステータスLED	S1	起動が完了すると緑が点灯します
	S2	カメラ、音声、USBデバイスサーバの転送が始まると緑が点灯します
	S3	USBデバイスサーバの転送準備が完了した時に緑が点灯します
USB	全ポート	コミュニケーション機能としてカメラ、マイク、スピーカなどを接続します
		USBデバイスサーバとしてPLCなどのUSB製品を接続します
		通信手段として無線LANモジュールを接続します
		ポート番号に決まりはなく、どこに何を指しても機能します
LAN		有線LANで通信する時に接続します
ディップスイッチ	1	未使用
	2	アクセスポイントモードのスイッチ
	3	未使用
	4	未使用
miniUSB		ネットワークホスト(未使用:実装予定)
拡張ポート		未使用
		オプションで監視装置、ロガー装置として機能させる場合に使用できま
		す。
タクトスイッチ		未使用
雷源DC5V		雷源アダプタを接続します

Box のネットワーク接続設定

BOX を無線 LAN 子機として使用する

1. 無線 LAN モジュールを取り付けます。

※注意 無前 LAN モジュールは非常に熱くなります。 本体に直接刺して使用すると本体が壊れてしまいます。 必ずL型の USB 延長コネクタ経由で接続して下さい。

2. DIP-SW の 2 を下げます。

これにより、一時的にアクセスポイントモードになります。



- 3. 電源を入れます。
- 無線 LAN 接続ができるスマホやノートパソコンなどで BOX に接続します。
 SSID 検索画面にて「PLC-Remote」を選択します。
- 5. 無線 LAN (SSID)接続のパスワードは以下を入力します。 パスワード:12345678
- 接続ができたらブラウザを開き、以下へアクセスしログインします。 http://192.168.99.1

Web 画面のユーザ名 :出荷状態のユーザー名は「ボックスシリアル番号」です Web 画面のパスワード:出荷状態のパスワードは「ボックスシリアル番号」です ※「ボックスシリアル番号」は PLC-REMOTE 本体にシールで書いてあります。 ログインが成功すると BOX の設定画面が開きます。
 メニューより「ネットワーク設定」を選択します。



USB 無線 LAN の項目を編集します。
 DHCP を選択し、接続先の無線 SSID と無線パスフレーズを入力します。

USB 無線LAN
DHCP 🗸
無線IPアドレス
無線ネットマスク
無線ゲートウェイ
無禄SSID
無縁ハスフレース

- 9. ページ下段の「設定」ボタンをクリックします。
- DIP-SW の2を上げます。(元に戻します)
 (DIP-SW は4つとも全て上の位置になっていることを確認します。)

11. 通信状態の確認は正面 S3 の LED で行うことができます。

赤点滅:ネットワーク異常 橙点滅:ネットワーク接続、インターネット未接続 緑点滅:インターネット接続、専用サーバ未接続

緑点灯:専用サーバ接続完了(遠隔リモート可能状態)

※橙点滅、または、緑点滅、または、緑点灯で「USB 無線 LAN 接続」正常です。

12. LED 正常な場合はセットアップ完了です。

しばらく待ち正常とならない場合、BOX の再起動(電源の切入)をお願いします。

BOX を有線 LAN(DHCP)に接続し使用する

※出荷状態からの手順を説明します。

使用済みで静的アドレスが設定されている場合は、そのアドレスでブラウザより

「ネットワーク設定」を変更します。

アドレスが分からない場合は前章の手順 1~7 を行い、ブラウザより「ネットワーク設定」 を変更して下さい。

1. 内蔵有線 LAN の項目を編集します。

DHCP を選択します。

内蔵 有線LAN
DHCP 🗸
有線IPアドレス
有線ネットマスク
有線ゲートウェイ

- 2. ページ下段の「設定」ボタンをクリックします。
- 3. 電源を切り、無線 LAN モジュールを外します。
- 4. BOX の有線 LAN 接続ポートに LAN ケーブルを挿し、電源をいれます。
- 5. 正面 S3 の LED 確認

赤点滅:ネットワーク異常 橙点滅:ネットワーク接続、インターネット未接続 緑点滅:インターネット接続、専用サーバ未接続 緑点灯:専用サーバ接続完了(遠隔リモート可能状態) ※橙点滅、または、緑点滅、または、緑点灯になったら接続正常です。 BOX を有線 LAN(静的)に接続し使用する

※出荷状態からの手順を説明します。

使用済みで静的アドレスが設定されている場合は、そのアドレスでブラウザより

「ネットワーク設定」を変更します。

アドレスが分からない場合は前章の手順 1~7 を行い、ブラウザより「ネットワーク設定」 を変更して下さい。

1. 内蔵有線 LAN の項目を編集します。

静的アドレスを選択し、

有線 IP アドレス、有線ネットマスク、有線ゲートウェイを入力します。

内蔵有線LAN
静的アドレス 🗸
有線IPアドレス
有線ネットマスク
有線ゲートウェイ

2. ページ下段の「設定」ボタンをクリックします。

3. 電源を切り、無線 LAN モジュールを外します。

4. BOX の有線 LAN 接続ポートに LAN ケーブルを挿し、電源をいれます。

正面 S3 の LED 確認
 赤点滅:ネットワーク異常
 橙点滅:ネットワーク接続、インターネット未接続
 緑点滅:インターネット接続、専用サーバ未接続
 緑点灯:専用サーバ接続完了(遠隔リモート可能状態)
 ※橙点滅、または、緑点滅、または、緑点灯になったら接続正常です。

BOX を携帯回線に接続し使用する

※出荷状態からの手順を説明します。

使用済みで静的アドレスが設定されている場合は、そのアドレスでブラウザより

「ネットワーク設定」を変更します。

アドレスが分からない場合は前章の手順 1~7 を行い、ブラウザより「ネットワーク設定」 を変更して下さい。

1. メニューより「BOX 情報設定」を選択します。

🚥 docomo 🗢	18:42	@ ┦ 常 ■
	192.168.99.1	C
PL	C-Remote H	Box
	デバイス制御	
	USB電源制御	
	スイッチ制御	
	BOX情報設定	
	ログ管理	
ネ	ットワーク設定	こう とう こう
3	現在の状態取得	

- ユーザー名とパスワードを入力します。
 ユーザー名: admin
 パスワード(出荷時): admin
- APN 名、APN ユーザ名、APN パスワードを入力します。
 ※下記例は OCN の SIM の場合

APN名	
lte-d.ocn.ne.jp	
APNユーザ名	
mobileid@ocn	
APNバスワード	
mobile	

- 4. ページ下段の「設定」ボタンをクリックします。
- 5. 電源を切り、無線 LAN モジュールを外します。

6. BOX の USB ポートに SIM をセットした赤いモジュール(L 字付き)を差し、 電源をいれます。



7. 正面 S3 の LED 確認
 赤点滅:ネットワーク異常
 橙点滅:ネットワーク接続、インターネット未接続
 緑点滅:インターネット接続、専用サーバ未接続
 緑点灯:専用サーバ接続完了(遠隔リモート可能状態)
 ※橙点滅、または、緑点滅、または、緑点灯になったら接続正常です。

Box の機器接続設定

USB ケーブルによる機器との接続

- 1. Box の USB ポートと接続対象機器の USB ポートを USB ケーブルで接続します。
- 接続した機器への Windows アプリケーションからの操作は以下を参照してください。
 「カメラ・マイク・スピーカ、USB デバイスの操作方法」

LAN ケーブルによる機器との接続

※出荷状態からの手順を説明します。

使用済みで静的アドレスが設定されている場合は、そのアドレスでブラウザより

「ネットワーク設定」を変更します。

アドレスが分からない場合は前章の手順 1~7 を行い、ブラウザより「ネットワーク設定」 を変更して下さい。

1. 内蔵有線 LAN の項目を編集します。

「ブリッジに使用」を選択します。

有線 IP アドレス、有線ネットマスク、有線ゲートウェイは空欄としてください。

内蔵 有線LAN
ブリッジに使用 🗸
有線IPアドレス
有線ネットマスク

2. 電源を切り、無線 LAN モジュールを外します。

 BOXの有線LAN接続ポートと接続対象機器のLANポートをLANケーブルで接続し、 電源をいれます。
 ※接続先がHUBの場合、
 HUBにつながるネットワーク内にDHCPサーバが無いことを必ず確認してから接続して下さい。

接続した機器への Windows アプリケーションからの操作は以下を参照してください。
 「遠隔地(リモート) LAN への接続」

Windows アプリケーションについて

インストール手順

インストーラの取得

 <u>www.plc-remote.com</u>にアクセスし、 ダウンロードページの安定版の下に表示されるリンクをクリックします。



以下のダイアログが表示されますので、
 弊社よりお送りしたログインアカウントとパスワードを入力してください。

認証が必要です		
http://www.plc-remot	te.com f=イバミーが保護されません	
このソイドへの1支税ではノ	リコハリール 体設される ビル	
ユーザー名		
パスワード		
	ログイン キャンセル	

3. アプリケーションを保存します。

plc-remote.com から PLC-Remote_1.0.0.61m_setup.EXE (32.7 MB) を実行または保存しますか?			×
	実行(R)	保存(S)	・ キャンセル(C)

インストールの実行

1. ダウンロードした zip ファイルを解凍し、

「PLC-Remote Installer.msi」をダブルクリックします。

럙 PLC-Remote Installer.msi 梁 setup.exe

2. 以下のダイアログが表示されますので「次へ」をクリックします。



3. 以下のダイアログが表示されますので「次へ」をクリックします。

🕼 PLC-Remote	_		×
インストール フォルダーの選択			
インストーラーは次のフォルダーへ PLC-Remote をインストールします。			
このフォルダーにインストールするには[次へ]をクリックしてください。別の トールするには、アドレスを入力するか[参照]をクリックしてください。	りフォル	ダーに	インス
フォルダー(E):			
C#Program Files (x86)#Silicon Linux Corporation#PLC-Remote#	:	参照(R)	
	ディ	スク領域	ŧ(D)
PLC-Remote を現在のユーザー用か、またはすべてのユーザー用にインストー	ールします	₫:	
○すべてのユーザー(E)			
◉このユーザーのみ(M)			
キャンセル < 戻る(B)		次へ(N) >

4. 以下のダイアログが表示されますので「次へ」をクリックします。

提 PLC-Remote	_		×
インストールの確認			5
PLC-Remote をインストールする準備ができました。			
し次へ」をクリックしてインストールを開始してください。			
キャンセル く戻る	(B)	次^	.(N) > N

5. プログレスバーの進行中に、

以下のダイアログが表示されますので「はい」をクリックします。

ユーザー アカウント制御 このアプリがデバイスに変更 か?	× を加えることを許可します
 24ef0eee.msi 確認済みの発行元: Silicon Linux ファイルの入手先: このコンピューター 詳細を表示 	cCorporation 上のハード ドライブ
快	いいえ

6. 以下のダイアログが表示されますので「OK」をクリックします。

SoftEther		×
()	サービス SoftEther VPN Client (サービス名 sevpnclient) を正しくインスト ールしました。	
	(実行パス: "C:¥Program Files (x86)¥Silicon Linux Corporation¥PLC-Remote¥SoftEther VPN Client¥vpnclient.exe" /service)	
	サービスの起動が完了しました。	
	ОК	

7. 以下のダイアログが表示されますのでプログレスバーの進行をお待ちください。

) (jeji	新しい VPN 用仮想 LAN カードを作成し、Windows に追加しています。 この処理には数秒から数十秒かかる場合があります。 しばらくお待ちください (仮想 LAN カードの作成中は他の操作はしないでください。)

8. 以下のダイアログが表示されますので「閉じる」をクリックします。

₽LC-Remote — □ ×
インストールが完了しました。
PLC-Remote は正しくインストールされました。 終了するには、[閉じる]をクリックしてください。
Windows Update で、.NET Framework の重要な更新があるかどうかを確認してください。 キャンセル く 戻る(B) 閉じる(C)

9. デスクトップ上の以下のショートカットをダブルクリックします。



10. 以下のダイアログが表示されますので「はい」をクリックします。



11. プライベートネットワーク、パブリックネットワークの双方にチェックを入れ、 「アクセスを許可する」をクリックします。

※このダイアログは初回起動時のみ表示されます。

💣 Windows セキュリ	リティの重要な警告		Х			
כסדי 🂗	りの機能のいく	くつかが Windows ファイアウォールでブロックされています				
すべてのパブリック ネッ くつかがブロックされてい	ットワークとプライベー います。	トネットワークで、Windows ファイアウォールにより PLC-Remote の機能のい				
Remote	名前(<u>N</u>):	PLC-Remote				
	発行元(<u>P</u>):	シリコンリナックス株式会社				
	パス(<u>H</u>):	C:¥program files (x86)¥silicon linux corporation¥plc-remote ¥plc-remote.exe				
PLC-Remote にこれら	5のネットワーク上で	の通信を許可する:				
✓ プライペート ネットワーク (ホーム ネットワークや社内ネットワークなど)(R) ✓ (ブリック ネットワーク (空港、喫茶店など) (非推奨)(U) このようなネットワークは多くの場合、セキュリティが低いかセキュリティが設定されていません)						
アプリにファイアウォール	の経由を許可する	ことの危険性の詳細				
		アクセスを許可する(<u>A</u>) キャンセル				

12. 起動したダイアログの右下の矢印をクリックし表示される、

「リモート接続設定」をクリックします。

PLC-Remote 2.0.0.0	- 🗆 🗡	
	□ リモートBOXに接続 □ リモートLANに接続	
	Boxログイン	
	BSINX008	
	172.16.105.1 マ アプリをリセット Boxリセット 編集	
	5 v fps 320x240 v (S)	
	密度 80 128 bps 7	
		設定ファイルのインポート 設定ファイルのエクスポート
		 ログ窓表示 ログを保存する VPN登録リセット
		リモートメンテナスサービス
	3 4	
IPアドレス取得できませんでした。	•	

13. 以下のダイアログが表示されますので「ローカルコンピュータ」にチェックをいれ「OK」 をクリックします。

🔣 Soft	Ether VPN クライアント接続マネージャ	×
	別のコンピュータ上で動作している VPN Client サービスを VPN クライアント打 ゃから接続し、リモート管理することができます。 (ただし、接続先のコンピュータの VPN Client サービスがリモート管理を許可し があります。)	接続マネージ 」ている必要
	接続するコンピュータのホスト名または IP アドレスを指定してください(S): □ーカルコンピュータ (この画面を表示しているコンピュータ) (ご接続(L) コンピュータ名(C): localhost ~	·
	OK *	キンセル

14. 以下のダイアログが表示されますので上段メニュー「接続」をクリックし 「接続設定のインポート」をクリックします。

	SoftEther VPN クライアント接続マネージ	τ						_		×
接続	(C) 編集(E) 表示(V) 仮想 LAN	スマートカード(S)	ツール(T)	ヘルプ(H)						
	接続(O)	Enter	接続先 VPN	サーバー		仮想 HUB	名	仮想 LAN	カード名	
	状態の表示(S)	Ctrl+S								
	切断(I)	Ctrl+D								
	すべての接続を切断(A)	Ctrl+I								
	最近接続した VPN サーバー									
	接続設定の新規作成(N)	Ctrl+N								
	コピーの作成(C)	Ctrl+C								
	接続ショートカットの作成(H)									
	接続設定のエクスポート(F)									_
	接続設定のインポート(P).	N								
	スタートアップ接続に設定(T)	Ctrl+T	状態		MAC アドレス		バージ	海ン		
	スタートアップ接続を解除(F)		有効 (使用	月可能)	00-AC-70-B2-95-A	E	4.19.	0.9594		
			有効 (使用	月可能)	00-AC-73-14-8A-0	7	4.19.	.0.9594		
	名前の変更(M)	F2								
	削除(D)	Del								
	プロパティ(R)	Alt+Enter								
~	タスクトレイのアイコンの表示(T)									
	接続マネージャを閉じる(O)	Alt+F4	E C	👌 未接続		😨 SoftEther	VPN	Client Build	l 9634	:
	接続マネージャプログラムの終了(X)	Alt+Q							-	

15. 以下のダイアログが表示されますので

弊社から送付されたファイル(*.vpn)を選択し、【開く】をクリックします。

(ファイルは2つ送付しますので、

(手順13,14をそれぞれのファイルに対し行ってください。

このようには、「おおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおお								
← → ^ ■ > PC > デスクトップ ブ マ ひ デスクトップの検索								
整理 ▼ 新しいフ	フォルダー					III 🔻 🔲	?	
🛃 ካለኳካ マクセン	^	名前	更新日時	種類	サイズ			
= = = 70 Luf		w_connectRemoteBox.vpn	2018/01/05 18:55	VPN ファイル	2 KB			
エーテスクトッノ	×	w_connectRemoteLan.vpn	2018/01/05 16:48	VPN ファイル	2 KB			
↓ タウンロード	*	🍰 Google ドライブ	2017/11/29 10:33	ショートカット	2 KB			
🗐 ドキュメント	*	Ixss	2017/06/06 8:57	ショートカット	2 KB			
📰 ピクチャ	*	DDWin_Ver0998	2017/11/27 18:41	ファイル フォルダー				
🝐 Google ドライス	ブッオ	vpnfiles	2018/01/11 15:28	ファイル フォルダー				
 OneDrive PC 3D オブジェクト ダウンロード デスクトップ ドキュメント ビクチャ ドデオ 								
	ファイル名(N):	w_connectRemoteBox.vpn			✓ 接続設定	ファイル (*.VPN)	\sim	
					開公((D) キャンセ	μ 	

2つのファイルのインポートにより設定が2つ表示されたことを確認し、
 右上の【×】で以下のダイアログを閉じます。

🔣 SoftEther VPN クライアント接続マネー	ジャ				- 0	×
接続(C) 編集(E) 表示(V) 仮想LAN	↓ スマートカード(S) ツール(T) ヘルプ(H)				U
接続設定名	状態	接続先 VPN サーバー		仮想 HUB 名	ム 仮想 LAN カード	名
🗐 新しい接続設定の作成						
₩_connectRemoteBox	オフライン	153.120.42.86:443 (į	直接 TCP/IP 接続)	bridgetest	VPN127	
₩_connectRemoteLan	オフライン	153.120.42.86:443 (į	直接 TCP/IP 接続)	bridgetest	VPN126	
仮想 IAN カード名		状態	MAC 75LZ	10	ージョン	
VPN Client Adapter - VPN127		有効(使用可能)	00-AC-70-B2-95-AF	: 4	19 0 9594	
VPN Client Adapter - VPN126		有効 (使用可能)	00-AC-73-14-8A-07	4.	19.0.9594	
		(000 500)				
SoftEther VPN クライアント接続マネージャ		☞ 未接続	3	SoftEther VI	PN Client Build 9634	

- PLC-Remote 2.0.0.0 — □ リモートBOXに接続 □ リモートLANに接続 Boxログイン / BSINX008 172.16.105.1 \sim アプリをリセット Boxリセット 編集 5 🗸 fps 320×240 ~ 感度 80 ~ 128 🗸 bps 128 V bps IPアドレス取得できませんでした。 -
- 17. 右上の【×】で以下のダイアログを閉じます。

18. 以上で、インストールは完了です。

使用方法

起動

1. デスクトップの PLC-Remote アイコンをダブルクリックします。



2. 以下のダイアログが表示されますので「はい」をクリックします。

ユーザー アカウント制御 このアプリがデバイスに変更 か?	× を加えることを許可します
 PLC-Remote 確認済みの発行元: Silicon Linux ファイルの入手先: このコンピューター. 詳細を表示 	Corporation 上のハード ドライブ
tti	いいえ
	A CARLER AND A CARLER

3. 以下のダイアログが表示されます。



Box との接続

ローカル LAN に存在する BOX に接続する場合

1. 「編集」をクリックし「一覧取得」をクリックします。



2. 以下のダイアログが表示されますので接続先 BOX が表示された行をクリックした後 「追加登録」をクリックします。

Box-	一覧取得					×
	再取得	クリア			追加登録	
	登録	ボックス シリア	心番号	名称	LANアドレス	VPNアドレス
•	未	SSsinx001	. 	自川IC	172.16.1.3	
			.tr			

3. 以下のダイアログが表示されますので

「ボックスパスワード」に「ボックスシリアル番号」と同じ文字列を入力し

「OK」をクリックします。

※「ボックスシリアル番号」は PLC-REMOTE BOX のシールに記載されています。

Box編集	×
ボックス名称	白川IC
ボックスシリアル番号	SSsinx001
ボックス パスワード	SSsinx001
キャンセル	ОК

 一定時間後 BOX との接続が完了します。
 BOX に USB デバイスが接続されている場合以下のダイアログが表示されますので デバイスの種類に応じ「はい」「いいえ」をクリックします。
 USB メモリ・PLC の場合は「はい」

カメラ・マイク・スピーカの場合は「いいえ」

仮想USB	接続デバイスの登録	×
?	新しいUSB機器が接続されました。 機器名[ActionStar] この機器は仮想USB接続するデバイスですか? ※登録後もデバイス一覧表示を右クリックでいつでも変更できます。 [はい] : 仮想USB接続するデバイスとして登録します。 [いいえ] : 仮想USB接続しないデバイスとして登録します。 [キャンセル]:今回は登録しません	
	はい(Y) いいえ(N) キャンセル	

※手順3,4操作後、手順2で表示させたダイアログは不要となるため、

画面右上の「×」をクリックし閉じます。

5. 以上で接続は完了です。

カメラ・マイク・スピーカ、USB デバイスの操作は 「カメラ・マイク・スピーカ、USB デバイスの操作方法」で説明します。

遠隔地(リモート)に存在する BOX に接続する場合

1. 「リモート BOX に接続」をチェックし、

PC アイコン下の IP アドレスが「192.168.30.*」となることを確認します。

PLC-Remote 2.0.0.0	– 🗆 ×
	☑ リモートBOXに接続 □ リモートLANに接続
	BoxD77>
	5 × fps 320x240 ×
	Sig 80 → 128 → bps
	1 2 3 4

2. 「ローカル LAN に存在する BOX に接続する場合」の手順1から同じ手順を踏むこと で遠隔地の BOX に接続ができます。

※「一覧取得」クリック後のダイアログでは遠隔地に存在するBOXを選択して下さい。

Box	一覧取得					\times
	再取得		クリア		追加登録	
	登録	ボック	フス シリアル番号	名称	LANアドレス	VPNアドレス
	未	SSsir	n×001	白川IC	172.16.1.3	
•	未	BSIN	×008			192.168.30.11
			Box編集 ボックス名称 ボックスシリアルギ ボックス パスワー キャンセ	番号 BSINX008 -ド BSINX008 ル OK	×	

カメラ・マイク・スピーカ、USB デバイスの操作方法 「Box との接続」が完了していれば BOX に接続された USB デバイスを Windows から操作することが可能です。

● カメラ

BOX にカメラが接続されている場合(アイコンが濃いグレーの状態)、 動作ボタンをクリックすることで BOX に接続されたカメラ映像を見ることができる ようになります。



カメラ停止状態でフレームレート、画面サイズを変更することができます。 フレームレート、画面サイズともに値を大きくすることで通信量が増えますので、 適宜調整を行って下さい。

● マイク

BOX にマイクが接続されている場合(アイコンが濃いグレーの状態)、 動作ボタンをクリックすることで BOX に接続されたマイク音声を聞くことができる ようになります。



・ スピーカ

BOX にスピーカが接続されている場合(アイコンが濃いグレーの状態)、 動作ボタンをクリックすることで BOX に接続されたスピーカに音声を出力すること ができるようになります。



• USB

BOX に USB メモリや PLC が接続されている場合(アイコンが濃いグレーの状態)、 動作ボタンをクリックすることで BOX に接続された USB メモリや PLC を操作する ことができるようになります。



(動作中)

動作中:手元 PC で USB 接続が検知されますので USB メモリの場合) ファイル操作が可能になります。 PLC の場合) 手元 PC の PLC 用アプリケーションで PLC の操作ができるようになります。 遠隔地(リモート)LAN への接続

本章では、

遠隔地に存在する BOX と遠隔地のデバイス・PC を Ethernet ケーブルで接続し、操作する 方法を説明します。

※本操作により接続する遠隔地の

デバイス・PC・は必ず静的 IP を持つものを対象として下さい。

※接続先が HUB の場合、

HUB につながるネットワーク内に DHCP サーバが無いことを必ず確認してから接続して 下さい。



1. BOX と接続する。

「Boxとの接続」に従い、接続して下さい。

2. 「コントロールパネル」を開き、「ネットワークとインターネット」をクリックします。

🕺 コントロール パネル	-	×
		Q
コンピューターの設定を調整します 表示方法:	カテゴリ 🔻	
システムとセキュリティ コンピューターの状態を確認 ファイル展歴でファイルのバックアップコピーを保存 バックアップと復元 (Windows 7) コーザー アカウント マカウントの種類の変更 デスクトップのカスタマイズ		
ハードウェアとサウンド デバイスとブリンターの表示 デバイスの追加 パイスの追加 パイスの追加 パイスの追加 パイスの追加 パイスの追加 パイスの追加 パイスの追加 パイスの追加 パイスの追加 パイスの追加 パイスの追加 パイスの追加 パイスの たりの の設定、 インターネットの表示と接続設定 の構成などを行います。 パイスの コーピューターの簡単操作		
プログラム プログラムのアンインストール ジログラムのアンインストール ジェログラムのアンインストール		

3. 「ネットワークと共有センター」をクリックします。



4. 「アダプターの設定の変更」をクリックします。



5. 「VPN126 - VPN Client」を右クリックし、プロパティをクリックします。

⊿,	VPN126 - VPN Clien	-		->L= /	7 ケーブルが接続されてい	VPN Client Adapter - VPN126	
Û	VPN127 - VPN Clier	V	無効にする(B)		こいないネットワーク	VPN Client Adapter - VPN127	ネットワーク アクセスなし
þ	イーサネット		状態(U)		7	Realtek PCIe GBE Family Controller	インターネット アクセス
Ĥ	イーサネット 2		診断(1)			ASIX AX88772 USB2.0 to Fast Ethernet A	
		•	ブリッジ接続(G)				
			ショートカットの作成(S)				
		•	削除(D)				
		ę	名前の変更(M)				
		•	プロパティ(R)				

6. 「インターネットプロトコルバージョン4を選択し、「プロパティ」をクリックします。



- 「次の IP アドレスを使う」をチェックし、接続するデバイスと通信できるよう設定し、 「OK」をクリックします。
 - 例)





8. PLC-Remote の「リモート LAN に接続」にチェックをつける。

9. 以上で遠隔地のデバイス・PCと接続が完了します。 これにより、遠隔地の IP デバイス・PC の操作を手元 PC から行うことができます。 アンインストール方法

1. 「コントロールパネル」を開き、プログラムをクリックします。



2. 「プログラムと機能」をクリックします。



3. 「プログラムのアンインストールまたは変更」で PLC-Remote を右クリックしアンイ ンストールをクリックします。

Ō	プログラムと機能						- 🗆	×
÷	- 🔿 👻 🛧 💆 א- פאעב א	パネル > プログラム > プロ	グラムと機能		~ Ū			Q
	コントロール パネル ホーム	プログラムのアン1	(ンストールまたは変更					
	インストールされた更新プログラムを 表示	プログラムをアンインスト	ールするには、一覧からプログラムを運	訳して [アンインストール]、[変更]、または [修復] をクリックしま	ます。		
	Windowsの機能の有効化または							
•	無効化	整理 マ アンインストーリ	ル 変更 修復					?
		名前	^	発行元	インストール日	サイズ	バージョン	^
		PLC-Remote		Silicon Linux Corporation	2017/12/08	204 MB	1.0.0	
		Python 2.7.14	アンインストール(U)	thon Software Foundation	2017/11/30	58.0 MB	2.7.14150	
		Python 2.7.14 (64-	変更(C)	thon Software Foundation	2017/12/13	61.4 MB	2.7.14150	
		b Python 3.6.3 (64-b	修復(F)	thon Software Foundation	2017/12/13	145 MB	3.6.3150.0	~
		Remote	ux Corporation 製品パージョン: ヘルプのリンク:	1.0.0 サポートのリン http://www.plc-remot サイ	ク: http://www. ズ: 204 MB	si-linux.co.jp/		

4. 表示されたダイアログで「はい」をクリックします。

プログラムと機能		
PLC-Remote をアンインストールしますか?		
□ 今後、このダイアログ ボックスを表示しない	はい(Y)	いいえ(N)

5. 表示されたダイアログで「はい」をクリックします。

ユーザー アカウント制御 このアプリがデバイスに変更 か?	× を加えることを許可します
 24ef0eee.msi 確認済みの発行元: Silicon Linux ファイルの入手先: このコンピューター 詳細を表示 	< Corporation 上のハード ドライブ
は少	いいえ

6. 以下のダイアログが表示されるので「OK」をクリックします。



7. 以下のダイアログが表示されるので「OK」をクリックします。



8. プログレスバーが走りきれば正常にアンインストールが完了しています。